

お困りの時はこちらまで

- 道路の下水道の異常や故障に気づかれたとき
- 私道の下水道整備を市に頼みたいとき
- 水洗化の相談
- 宅地内の排水設備についての相談

鶴見土木事務所	510-1669	金沢土木事務所	781-2511
神奈川土木事務所	491-3363	港北土木事務所	531-7361
西土木事務所	242-1313	緑土木事務所	981-2100
中土木事務所	641-7681	青葉土木事務所	971-2300
南土木事務所	341-1106	都筑土木事務所	942-0606
港南土木事務所	843-3711	戸塚土木事務所	881-1621
保土ヶ谷土木事務所	331-4445	栄土木事務所	895-1411
旭土木事務所	953-8801	泉土木事務所	800-2532
磯子土木事務所	761-0081	瀬谷土木事務所	364-1105

- 宅地内の排水設備についての相談
- 宅地内雨水浸透ます
- 雨水貯留タンク設置についての相談

下水道河川局管路保全課 671-2829

水再生センターや汚泥資源化センターでは、見学の受付をしています。希望される方は各センターにお問い合わせください。

北部第一水再生センター	572-2281	栄第一水再生センター	891-9711
神奈川水再生センター	453-2641	栄第二水再生センター	861-3011
中部水再生センター	621-4114	北部第二水再生センター	503-0201
南部水再生センター	761-5251	北部汚泥資源化センター	502-3738
港北水再生センター	542-3031	金沢水再生センター	773-3096
都筑水再生センター	932-2321	南部汚泥資源化センター	774-0848
西部水再生センター	852-6471		



横浜市 下水道 | 



横浜市水環境キャラクター かばのだいちゃん

## 発行

横浜市下水道河川局マネジメント推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

TEL: 045-671-2432 Mail: gk-management@city.yokohama.lg.jp

※携帯電話からかけるときは「045」と押してから各電話番号を押してください。

令和7年9月版

11 住み続けられる  
まちづくりを



12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を



14 海の豊かさを  
守ろう



15 陸の豊かさも  
守ろう



ちょっとした心がけ / 横浜市下水道河川局



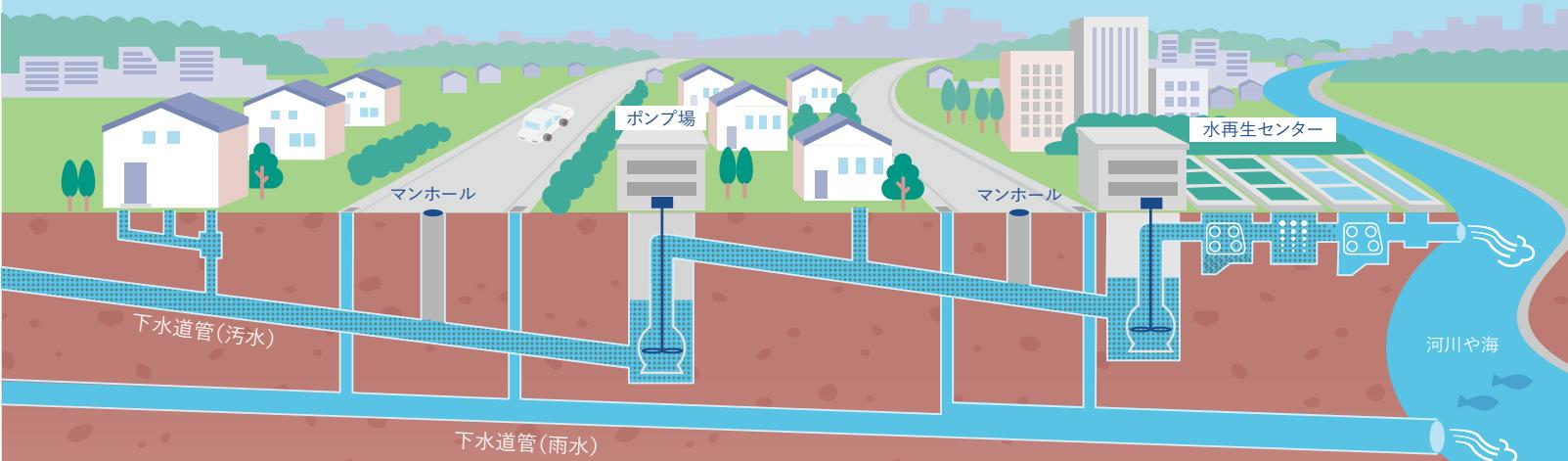
GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

©Expo 2027



# あなたの暮らしのすぐ下で、 静かに支えているもの。



私たちの暮らしの中には  
いつも水の気配があります。  
その日常のすぐそばで下水道が  
静かに、確かに働いています。

24時間365日  
横浜の街を支えている下水道。  
見えないけれど  
暮らしのすぐ下にある  
安心のしくみです。

洗面所で顔を洗うとき  
キッチンで食器を片づけるとき  
お風呂で湯船に浸かるとき。

あなたの毎日が  
横浜の未来につながっていく。  
そんな想いを、今日の暮らしの中に  
そっと添えてみませんか。

ほんの少しの気づきや心がけが  
街の水を守る力になります。

## 横浜市の下水道の特徴



マンホール蓋  
**約54万個**  
【政令市1位】

様々な種類の蓋があります。  
みなさんのまわりにはどんなマンホール蓋がありますか？

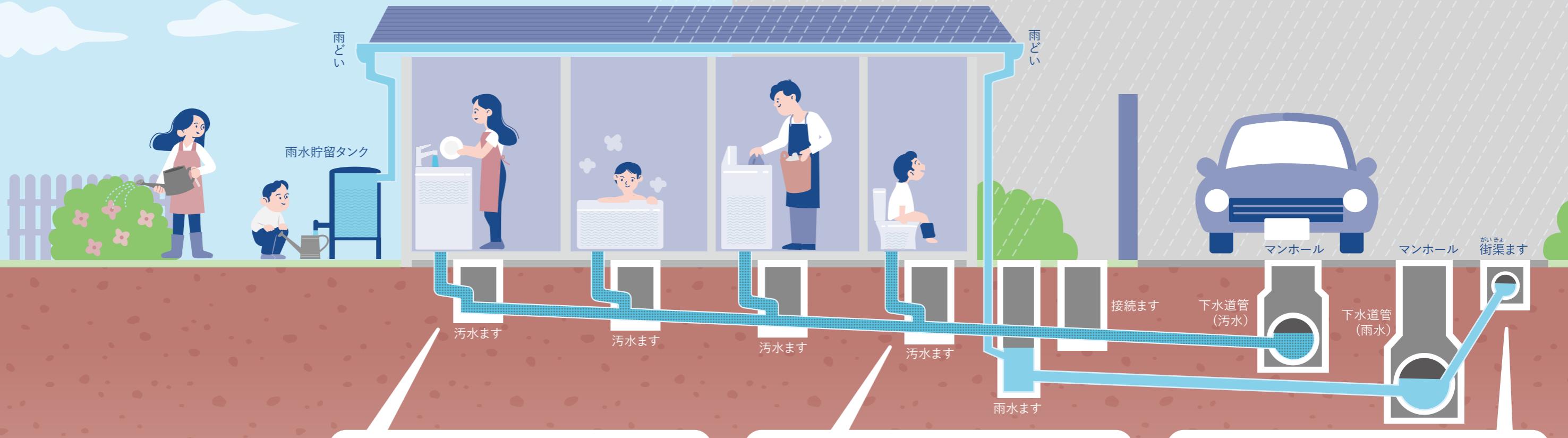
下水道管の総延長  
**約1.2万km**  
【政令市1位】

Yokohama



New York

総延長は横浜-ニューヨーク間よりも長い距離です。  
出典：大都市比較統計年表／令和5年 XIII 上・下水道



## ちょっとした心がけが、街の水を守ります

日々の暮らしの中での、ほんの小さな気づきや行動が、下水道の健全な働きを支える大きな力になります。一人ひとりのささやかな心がけの積み重ねが、横浜の環境を守り、次の世代へ豊かな暮らしを受け継いでいくための大切な一步です。あなたの行動が、未来の横浜を支える力につながります。

### 心がけ×水を使う

#### 油や生ごみを流さないで



油や食べ残しなどの生ごみが排水口に流れると、家庭内の排水設備や下水道管に汚れがたまり、つまりや悪臭の原因になります。流しに流さず、きちんと処理しましょう。ちょっとした工夫が下水道を大切に使うことにつながります。

### 心がけ×トイレ

#### トイレットペーパー以外のものを流さないで



ティッシュペーパーや紙おむつ、生理用品などは水に溶けません。流してしまうと、家庭内の排水設備や下水道管が詰まる原因になります。トイレには「トイレットペーパーだけ」を流すようにしましょう。

### 心がけ×大雨の時

#### ポイ捨てしないで



道ばたに捨てられたごみは、雨と一緒に流れて街渠ますにたまり、つまりの原因になります。その結果、道路が冠水したり、街の排水機能が低下することも。ごみは必ずごみ箱へ。街の水の流れを守るために大切なマナーです。

## もしもの時に備えて、できること

日々の備えや意識は、災害や予期せぬトラブルの際に、自分や大切な人の安全・安心を守る支えになります。もしもの時に備えることで、冷静な行動が取りやすくなり、地域全体の安心にもつながります。

### そなえ×水を使う

#### 雨水貯留タンクを設置してみましょう

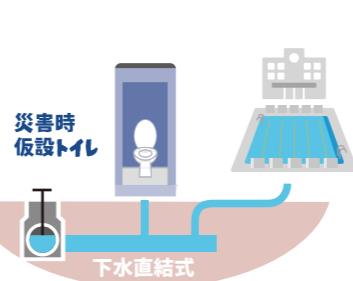


屋根に降った雨をためて、庭の水まきや洗車、非常時の水として使える雨水タンク。水道料金の節約になるだけでなく、大雨のときに一時的に雨水をためることで、浸水被害の軽減にもつながります。環境にも街にもやさしい取り組みです。



### そなえ×トイレ

#### ハマッコトイレの整備場所を確認しましょう



ハマッコトイレは、横浜市が災害対策として整備する非常用トイレで、学校のプール水などを利用し、下水道に直結することで断水時でも衛生的に使用可能です。市内の小中学校などに設置され、発災直後から地域住民も利用できるよう備えられています。



### そなえ×大雨の時

#### ハザードマップを確認しましょう



大雨や台風などの災害時に、浸水の危険がある場所を事前に知っておくことで、いざという時に落ち着いて行動できます。横浜市のハザードマップは、地域ごとの情報が詳しく掲載されています。家族で一度、確認してみましょう。

